ほりえ眞報３５号

第３５号 H25年４月15日　　堀江　眞　発行
雲南市吉田町上山７９－１℡ 0854・75・0236
メール　horie.shin@gmail.com
URL　http://www.nanushi.com/blog
眞さんのつぶやきで検索　ｆｂもご覧下さい。

平成25年度予算　二百八十一・三億円可決

三刀屋ＩＣから吉田ＩＣまで計画から２０年、中断の危機を乗り越え新直轄方式でついに完成しました。無料区間です。安全第一で活用しましょう。

３月30日念願だった尾道・松江間高速道路が開通しました。当日は好天にも恵まれ会場となった「道の駅たたらば壱番地」は関係者多数が集まり賑やかな一日でした。「たたらば壱番地」は県関係者が集まる開通式典で挨拶をされました。午後５時から開通式典の活用法等思い出に残る一日般の車輌は挨拶の供用開始。並んで待つ人もいるほどの快適な高速道路開通有難い。「たたらば壱番地」は多くの売れ残り割引の通過客様で賑わう。物産展や新鮮な野菜フルーツ、ご安全運転を願います。

飛び出しの関係者が集まる開通式典で挨拶をされました。午後５時から開通式典の活用法等思い出に残る一日般の車輌は挨拶の供用開始。並んで待つ人もいるほどの快適な高速道路開通有難い。「たたらば壱番地」は多くの売れ残り割引の通過客様で賑わう。物産展や新鮮な野菜フルーツ、ご安全運転を願います。

乳幼児等医療費助成拡充

「子育てするなら雲南市」

これまで０歳児から就学前まで医療費が全額助成されていましたが、25年７月から拡充されて小学校終了まで拡大されました。対象となる人数は約２千人、毎年約５千６百万円の予算が必要。少子化が急速に進んでいます。婚活出会いの場作り、一結婚対策、子育て支援策が必要。層の子育て支援策が必要。

新市役所35億６千万円

新市役所建設費について基本計画で31億円以内に収めると説明されていました。この度基本設計で概算35億６千万円になると報告されました。４億６千万円の増額。平成25年度に実施設計が行われます。十二分に精査され華美にならず無駄のない設計・建築を願いたいものです。

来庁者に分かりやすく省エネ省資源・環境に優しい庁舎を目指して設計が進んでいます。（写真はイメージ図です）

小滝空明氏歌碑は今・・

小滝空明・遥氏。明治30年４月吉田村に生る。大正６年「創作」に入社、若山牧水に指導を受く。その後、島根新聞社勤務を経て、郷里・田部家の専務となる。飯石郡歌人クラブを創設するなど活躍。昭和42年５月、古希を祝して湯村温泉・清嵐荘前の松林公園に歌碑が建立された。遺稿集「虎耳草（ゆきのした）」の序文に田部23代長右衛門氏は「君をして歌文を以って身を立てしめたならば必ずや日本的な作家となる人であった」と記した。「虎耳草」は歌壇のバイブルとなっている。この公園は往時、松が林立した美しい散歩コースであり地元の皆様の憩いの場。お花見、お茶会や夏の子供たちのキャンプなどに活用されてきた。松くい虫被害で松も減少、清嵐荘の露天風呂開設に伴い通路から視界に入ることを理由に公園の整備が放置され小滝空明先生歌碑と共に笹に覆われている。整備が急がれます。

雲南市が生んだ島根県歌壇の重鎮・小滝空明・遥氏の歌碑。氏の古希を祝い関係者で建立された。碑文「八重雲の立ちのぼる簸伊の峡深し神すさのをの息吹を秘めて」。

木の国文化館を廃止・解体

昭和63年度建設、旧吉田村当時、「鉄のシンポジウム」等各種イベントに活用されてきました。平成18年記録的豪雪により顕著な雨漏りが発生。修繕に多額の経費が掛ることから協議の結果、同種の施設「生涯学習交流館」を保存活用する事となる。当施設の制度上撤去可能な年月が到来した為解体されることになった。展示されていた同館のシンボル「田部の一番欅」や「八雲塗壁画」は夫々生涯学習交流館と吉田中学校に移転展示される予定。解体経費約１千８百万円也。「鉄シンポ」では村松貞次郎先生はじめ各界で著名な諸先生を招聘。たたら製鉄の歴史・伝統文化・学術研究成果を次々発信。又　日野原重明先生から直接ご指導戴いた「血圧測定研修会」は忘れられない思い出。

編集後記　今年は雪も少なく平穏に冬が過ぎた気がします。皆さまお変わりありませんか。政権交代から３カ月。デフレからの脱却なるか、ＴＰＰ参加表明・はたして。春本番元気を出して頑張って行きませふ　眞